

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 心の教室相談員活動経費
-------------------	--------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	1	子どもたちの生きる力を育む
小分類	2	豊かな人間性の育成
主要な施策	3	教育相談の充実
事務事業番号	002	事務事業コード 52123002 事業開始年度 平成 1 0 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	心の教室相談員活動経費
------	------	------------	-------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 市内中学校
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 近年、中学生による殺傷事件など社会問題化しており、こうした行動を起す要因の一つとして生徒たちの不安、ストレス等があげられており、ストレスを和らげ心のゆとりが持てるよう、友人関係や進路、親子関係、不登校などの相談を受けている。 ・平成21年度配置校 ~ 幌別中学校・西陵中学校・鷺別中学校・登別中学校・緑陽中学校 ・活用状況報告書の整理方法について見直しを図り、相談件数には、生徒との雑談件数は含まず、あくまでも相談を受けた件数を計上することとする。また、相談員とのふれ合いを求めて来室する生徒数については、別途取りまとめる。(H21年度ふれ合いを求めて来室した生徒数~2595名)
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 生徒が相談員とのふれ合いに安らぎを感じ、教職員以外に気軽に相談できる環境を作り、カウンセリング体制の充実に努める。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	相談員配置校	校	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5				
	相談件数 H20年度から相談を受けた件数のみ計上。	件	目標値	110	110	110	110	110
			実績値	116				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,675	1,789	189	189	189	567
合 計				1,675	1,789	189	189	189	567
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	99	104			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		99	104			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 北海道教育委員会からスクールカウンセラーの派遣を受け、カウンセリング体制の充実を図っているが、市が独自の事業を行い、より事業効果を高めることは重要である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 気軽に相談できる体制が確立されており、ふれあいを求めて来室する生徒も多い。生徒との信頼関係が形成されている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ スクールカウンセラー、教職員と連携を深め、カウンセリング体制の機能充実を図る。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 予算の大部分は相談員への謝礼であり、コスト削減は事業の実施自体を困難にする。

担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	中学生が、日常的に気軽に相談できる体制が確立されており、精神的に安定した学校生活を送るためにも必要な事業である。
-----------	----------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）